

再発防止策、「よく見る」だけで終わらせていませんか？

個人と組織で「なぜなぜ分析」に取り組んでみましょう。

サンプル・事例

ヒヤリ・ハットの
状況

追い口を作成後、伐倒に備えて退避行動を取っていたが、当該立木が倒れる際に隣接する立木の枝へ接触した影響で回転しながら想定外の方向へ倒れヒヤリとした。

原因分析

周囲の状況を十分に確認しないまま作業を行っていた。避難先の確認もしていなかったため、避難が遅れた。

再発防止策

作業前に、周囲の状況をよく観察する。
「指差し呼称」の実施を徹底する。



「よく見る」
こと！

何を、どう見れば
いいの？

また「指差し呼称」
を忘れないか
心配。



原因分析では、
「なぜそうなったのか」「なぜ、そう考えたのか」を洗い出していきます。



原因は一つとは限りません。まだ見えていない本当の原因があるかもしれません。
洗い出した原因を、もう一段深く考えてみましょう。



「気をつける」「よく見る」だけでは伝わらないな。
自分の経験や知識を、もっと具体的に伝えよう。



自分に何ができるか、考えてみよう。



組織として、何ができるかを
考えよう。

全員で
「安全管理のしくみ」
をつくろう！

